

平成 17 年 9 月 15 日  
南海都市創造株式会社

平成 17 年 9 月 17 日 (土) から

女性の視点で企画・設計を行った

レディス用レストルームをなんば C I T Y で供用開始します

南海グループの南海都市創造（社長 山中 諄）が運営するショッピングセンター「なんば C I T Y」では、本館地下 1 階のレディス用レストルーム（トイレ）のリニューアル工事を行っていましたが、9 月 17 日（土）からその供用を開始します。

同レストルームは、利用者本位のトイレづくりを行っている J R 東日本・平塚駅の駅ビル「平塚ラスカ」を参考として、南海都市創造の女性社員が女性としての視点からリニューアルを企画し、その設計にも関わったもので、広々としたパウダールームやゆったりとした個室、パティオ（中庭）の設置など、女性が利用しやすいように様々な工夫がなされています。

今回リニューアルしたレストルームをモデルとして、なんば C I T Y では残る 11 箇所のレストルームについても順次リニューアル工事に着手いたします。

詳細は別紙のとおりです。



9 月 17 日から供用開始するレディス用レストルーム

## 別紙

### 1. リニューアル工事に着手した経緯

JR東日本・平塚駅の駅ビル「平塚ラスカ」(運営会社:湘南ステーションビルディング株式会社)が利用者本位のトイレづくりを目指して改装を行ったことを聞いた南海都市創造・なんばCITY担当の女性社員が、なんばCITYのレストルーム(トイレ)のリニューアルの参考とするべく「平塚ラスカ」の視察やヒアリングを行いました。

その後当該女性社員は、なんばCITY内に設置しているトイレの効果的なリニューアル計画を検討するための部門横断的プロジェクトチーム「プロジェクトW」を立ち上げ、自らプロジェクトリーダーとなり、女性としての立場から「あるべきトイレの姿」について積極的な企画・立案を行うとともに、関係各部と定期的に検討会議を開催しました。

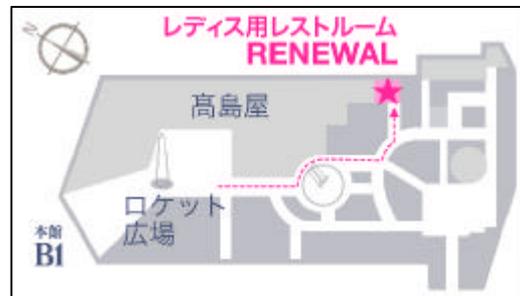
またリニューアル工事に際しては、設計だけでなく、施工業者や清掃業者の選定にまでこだわった結果、9月17日から、女性が利用しやすいような様々な工夫が凝らされたレディス用レストルームを供用できることとなりました。

### 2. リニューアルのポイント

- (1) メイク直しをゆっくりとじていただける広々としたパウダールームを設置
- (2) 乳幼児をお連れのお母さんがゆったりお使いいただけるよう、フィッティングボードやおむつ専用ダストボックスを配置した個室を設置
- (3) グリーンがある癒しのスペース、パティオ(中庭)を設置

### 3. 場所

なんばCITY本館地下1階  
(右図参照)



### 4. 供用開始日

平成17年9月17日(土)

### 5. リニューアルしたレディス用レストルームの概要

- (1) 設計 株式会社プランテック総合計画事務所
- (2) 面積 女性用トイレ部分 41.5 m<sup>2</sup>  
パティオ部分 10.3 m<sup>2</sup>  
計 51.8 m<sup>2</sup>
- (3) ブース数 お子さま対応ブース 1箇所  
(ベビーキーパー・フィッティングボード・ベビーベット設置)  
一般ブース 4箇所  
(ベビーキーパー設置 2箇所、フィッティングボード設置 2箇所)  
トータル便器数 5箇所(全て洋式・ウォシュレット設置)
- (4) 手洗い数 4箇所(自動水栓・自動石けん)  
ハンドドライヤーを2箇所設置
- (5) パウダーエリア 全長3.3m

【参考】ベビーキーパー...保護者がトイレを使用される際に、乳幼児を座らせておくことができる設備

フィッティングボード...ストッキング等の履き替えや乳幼児の着替えの際に  
靴を脱いで上がることができる折りたたみ式のボードのこと

## 6. なんばCITYの概要

- (1)所在地 大阪府中央区難波五丁目1番60号
- (2)開業日 昭和53年11月2日
- (3)売上高 316億8千万円(平成16年度)
- (4)店舗面積 約3万㎡
- (5)店舗数 約300店舗